

みうら 三浦 ゆうや

みんなでつながる《住民自治のまちすぎなみ》の会

山田区政・田中区政による
5期19年にわたる区民不在の区政から
住民の声が活かされる区政への転換をめざし、
気鋭溢れる若き人権派弁護士・
三浦佑哉（みうら・ゆうや）さんが
立ち上がりました。

1983年生（34歳） 中央大学法学部法律学科卒 明治大学法科大学院終了
司法修習生64期 2011年12月弁護士登録 杉並区高円寺南在住
自由法曹団 日本労働弁護団 青年法律家協会 ブラック企業被害対策弁護団
首都圏青年ユニオン顧問弁護団 明日の自由を守る若手弁護士の会（あすわか）等

【これまでかかわってきた主な事件】

○高円寺小中一貫校スラップ裁判

杉並区から委託された建設業者らが、高円寺小中一貫校の建設に抗議をしていた住民8名に対して、抗議行動の萎縮を狙って、工事妨害禁止の仮処分命令申立てをした事件。

○杉並民商税金訴訟

Amazonマーケットプレイスで販売事業を行う原告が、杉並税務署により過大な税額を記載した確定（修正）申告書を強制的に提出させられたため、杉並民主商工会（杉並民商）の支援を受けながら、国に対してその返還を求めている訴訟。

○東中野「昭和の街ムーンロード」訴訟

東中野「昭和の街ムーンロード」を壊し、再開発しようとする業者が、個人で飲食店を営む店主らに対して明け渡しを求めた訴訟。

○スタジオ・イースター事件

杉並区労連・杉並一般労組に加入した労働者3名が、杉並区のアニメ会社「スタジオ・イースター」に対して、未払い残業代やパワハラに対する慰謝料の支払いを求めた訴訟。

○カフェ・ベローチェ事件

喫茶店チェーン「カフェ・ベローチェ」千葉店で長期間、アルバイトとして働いていた30代女性が、雇い止めされたのは不当だとして、運営会社「シャノアール」に雇い止め撤回と慰謝料などを求めた訴訟。

○「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟弁護団

800名の原告が、東京電力及び国を相手方として、地域を汚染した放射線物質を事故前の状態に戻すこと、元の状態に戻るまでの間、精神的な苦痛に対する慰謝料の支払いを求め、福島地方裁判所に提訴した事件。

【講演・学習会講師活動】

○憲法、労働、貧困などに関する講演・学習会講師活動多数（2014年～2017年で、合計60件以上）

【趣味】

キャンプ、温泉旅行、登山、ビリヤード、野球、阿波踊り、お酒、うさぎとカメの飼育